

平成25年度当初予算編成のポイント

平成24年11月
総務部財政課

平成25年度当初予算編成の対応方針

我が国の経済情勢

東日本大震災からの復興需要は見込まれるものの、デフレに加え、電力供給の制約や深刻化する欧州債務危機の影響、さらには円高の長期化 景気の下振れ懸念

国の動きと地方財政への影響

追加経済対策としての補正予算や来年度当初予算の編成など国の財政運営の方針も極めて不透明な状況

平成25年度の地方一般財源総額については、「中期財政フレーム」により前年度の水準を確保
しかし、経済情勢を勘案すると地方税収の見込みは厳しく、地方交付税は社会保障関係経費の自然増によるしわ寄せの可能性

今後の地方財政の先行きを見通すことは困難

愛媛県の施策展開

南海トラフ巨大地震の被害想定等を受け、地域防災計画の見直し等を踏まえた防災・減災対策の推進

「瀬戸内しま博覧会(仮称)」の開催準備など愛媛の未来づくりプランに掲げる重点施策等の推進

予算編成の方針

歳入歳出全般にわたる対策のさらなる徹底と、今まで以上にメリハリを利かせた予算編成を通じて、地域経済に配慮しつつ、施策展開と財政健全化を両立

1 予算編成の基本姿勢

財政健全化基本方針を踏まえた予算編成

財政健全化基本方針及び新しい行政改革大綱を踏まえ、歳入歳出全般にわたる見直しに努めるとともに、市町や民間等との連携により愛媛県の総合力を発揮できるよう、各部局が主体性と責任を持った予算編成を行うこと。

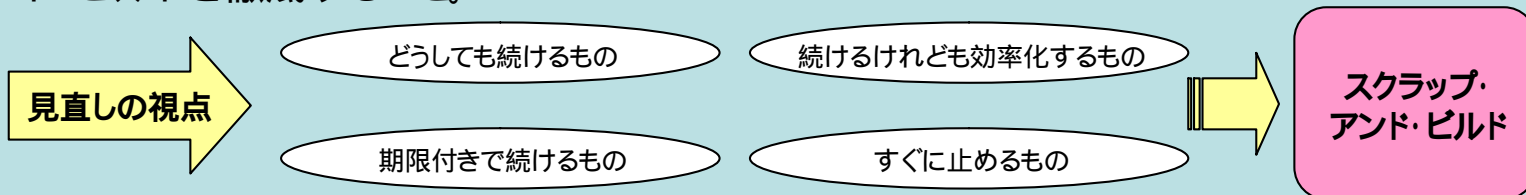
年間総合予算

新規事業を含めた年間所要額での要求とすること。

なお、補正予算の編成については、当初予算編成後に生じた緊急課題への対応など必要最小限の編成となる。

県民への説明責任

要求にあたっては、各事業を必要性が十分に認められるものとするとともに、絶えず新たな県民ニーズにより再構築するため、以下の視点で見直し、スクラップ・アンド・ビルドを徹底すること。



2 特別枠等の設定

「愛顔(えがお)枠」

長期計画(重点戦略方針)等の着実な推進を図る

- 知事公約の実現を図るため、『愛顔(えがお)枠』を設定
- 長期計画の「重点戦略方針」等を踏まえ、優先度、重要度、緊急度の高い事業を要求
- 「愛顔つなぐえひめ国体」の開催経費については、事業内容と所要額を十分精査し、計画的な要求に努める

「防災・減災強化枠」

南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備える

- 昨年度に引き続き、『防災・減災強化枠』を設定
- 国の補正予算等への適切な対応を図った上で、県独自の防災・減災対策の見直しや国の方針等を踏まえ、対応を要する課題について要求

「地方局直接予算要求枠」

圏域の固有課題解決のため適切に対応

- 地方局からの予算要求システムを継続し、「地方局直接予算要求枠」を設定

3 予算編成にあたっての留意事項

景気雇用対策

県単独補助金等の精査

南予地域の活性化対策

大規模事業の見直し、大規模修繕

市町連携「チーム愛媛」

ゼロ予算事業の拡充

国庫補助負担金の動向

4 財源の配分

財源配分枠の設定

各部局の枠配分額は、平成24年度9月現計予算額を限度とする。
(ゼロシーリング)

今後、国の平成25年度予算編成の動向や景気の変動等により、一般財源の見通しに大幅な変動が生じた場合には、減額を含めた再配分を行うことがある。

スクラップ・アンド・ビルドの徹底